



Space Experience

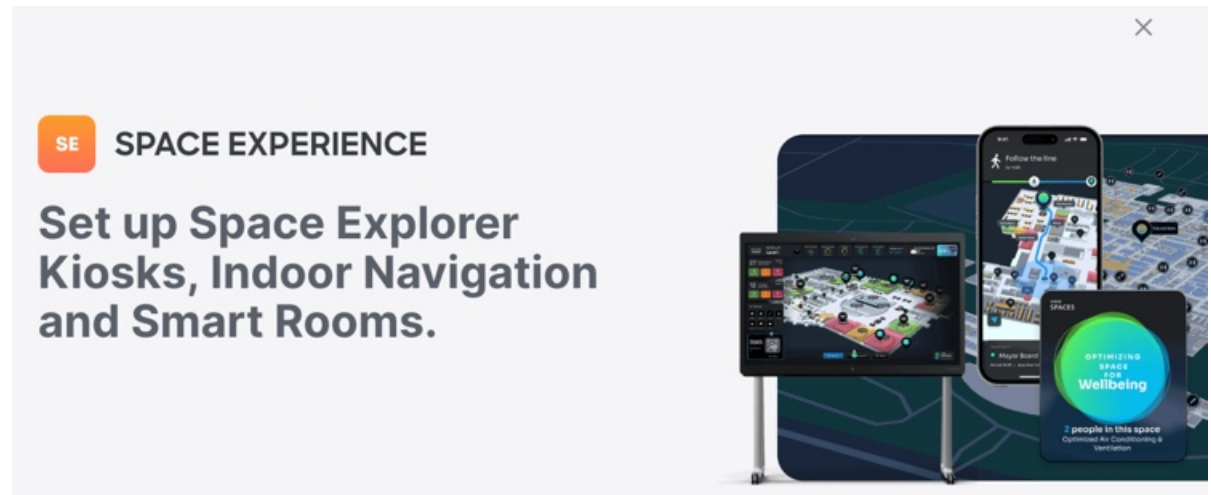
- [Space Experience の概要, on page 1](#)
- [サイネージデバイスの管理, on page 3](#)
- [ユーザーの管理, on page 11](#)

Space Experience の概要

Space Experience アプリケーションでは、Cisco Spaces を使用して、職場の会議室、フロア、および建物全体でデジタルサイネージのオンボード、設定、および管理を行うことができます。

このアプリケーションを使用して、Cisco Webex のサイネージと Cisco Webex 以外のサイネージでテレメトリパラメータを設定して公開することもできます。これらの更新は、それぞれのサイネージに自動通知されます。

Figure 1: Space Experience



About the App

The Space Experience app brings together multiple smart workplace solutions — including Space Explorer Kiosks and a Web App that give users a spatial view of buildings to easily find and book rooms, desks, and points of interest. It also powers Indoor Navigation for precise, turn-by-turn directions and enables Smart Rooms that automatically adjust ventilation and air quality to improve comfort and energy efficiency.



Space Experience アプリケーションは、次のライセンスタイプに関連付けられています。

- ACT (UI では [Advantage] と表示)
- UNLIMITED
- PREMIER_W
- PREMIER_CW

サイネージデバイスの管理

Procedure

- Step 1** Cisco Spaces で、[ダッシュボード（Dashboard）]>[Space Experience]を選択します。
[Space Experience] ウィンドウが表示されます。
- Step 2** 左側のナビゲーションウィンドウで、[マイサイネージ（My Signages）]をクリックします。
- Step 3** [非Webexデバイス（Non-Webex Devices）]タブをクリックします。
- Step 4** サイネージ固有の手順については、トピック「[Webex 以外のサイネージのセットアップ, on page 3](#)」記載の手順に従ってください。

Webex 以外のサイネージのセットアップ

このタスクでは、**Space Experience** アプリケーションを使用して 非 Webex デバイスを設定し、サイネージで **Cisco Smart Workspaces** をアクティブ化する方法について説明します。



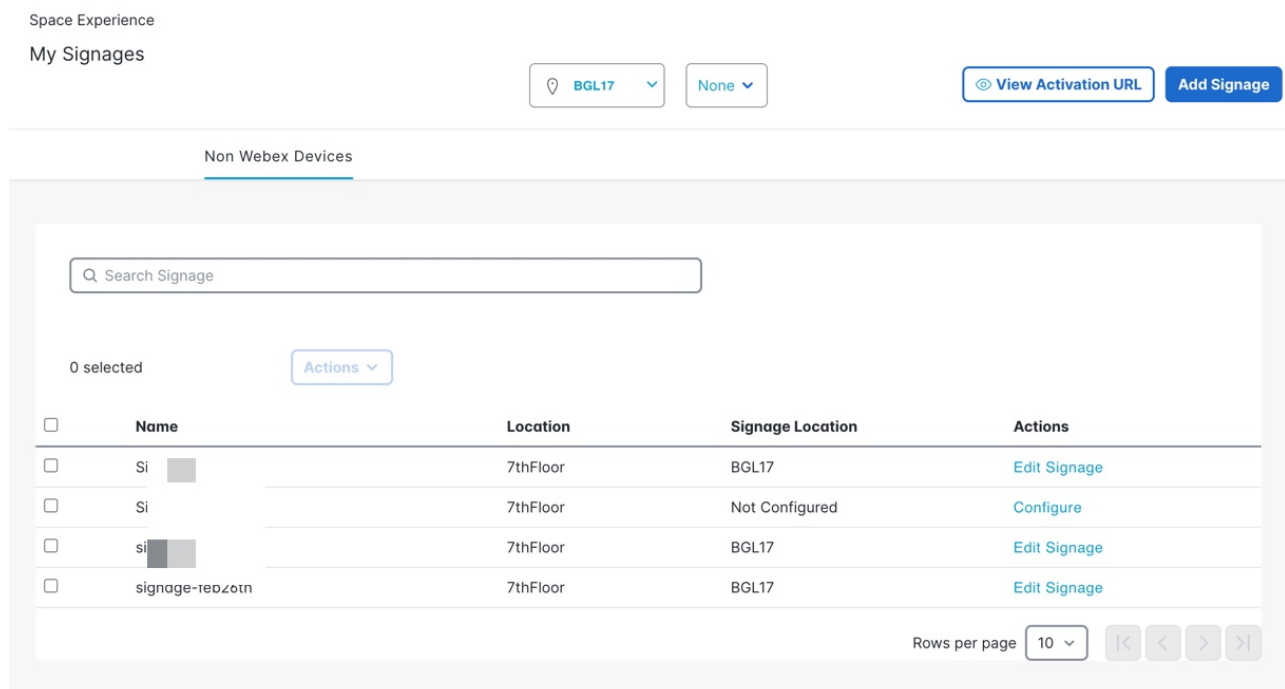
Note

非 Webex デバイスで実行されるテストは限定的で、シスコではそれらのデバイスの互換性を認定していません。デバイスのブラウザまたはサイネージアプリケーションが WebGL をサポートしていることを確認します。[WebGL リンク](#)にアクセスして、互換性を確認できます。これは独自開発オプションであり、ユーザーが自分でテスト、メンテナンス、およびモニタリングを行う必要があります。一部のサイネージディスプレイでは、Cisco Spaces サイネージ Web アプリケーションをロードするために、Room Kit Mini、ミニ PC、または統合ブラウザやサイネージアプリケーションを搭載した別のコンピュータなどのホストデバイスが必要である場合があります。

Procedure

- Step 1** Cisco Spaces で、[ダッシュボード（Dashboard）]>[Space Experience]を選択します。
[Space Experience] ウィンドウが表示されます。
- Step 2** 左側のナビゲーションウィンドウで、[マイサイネージ（My Signages）]をクリックします。
- Step 3** [マイサイネージ（My Signages）]ページで、[非Webexデバイス（Non-Webex Devices）]タブをクリックします。
[サイネージ（Signages）]テーブルが表示され、既存の非 Webex サイネージとそのロケーションが一覧表示されます。[検索（Search）]フィールドを使用して、サイネージを検索します。
- Step 4** フィルタオプションのドロップダウンリストから、建物とフロアを選択します。

Figure 2: Space Experience アプリケーション



- Step 5** 非 Webex サイネージのアクティベーションコードを生成するには、[アクティベーションURLの表示（View Activation URL）] をクリックします。
- Step 6** サイネージをアクティブにするには、ブラウザでこの URL をコピーして、サイネージに対して貼り付けます。
- Step 7** [サイネージの追加（Add Signage）] をクリックして、**新しいサイネージを追加します**。
新しいサイネージが [マイサイネージ（My Signages）] ページに表示されます。
- Step 8** 新しいサイネージを設定するには、[設定（Configure）] をクリックし、**画面に表示される指示に従います**。
- Step 9** （オプション）以下のアクションを実行します。
- サイネージの横にあるチェックボックスをオンにし、[アクション（Actions）] ドロップダウンリストから [削除（Delete）] を選択して、選択したサイネージを削除します。
 - サイネージの横にあるチェックボックスを選択し、[アクション（Actions）] 列で [サイネージの編集（Edit Signage）] をクリックして、サイネージの詳細を更新します。

サイネージの追加

このタスクでは、**Space Experience** を使用して非 Webex サイネージを追加する方法を示します。

Procedure

Step 1 Space Experience アプリケーションで、[マイサイネージ (My Signages)] タブをクリックします。

Step 2 [非Webexデバイス (Non-Webex Devices)] タブをクリックします。

Step 3 [サイネージの追加 (Add Signage)] をクリックします。
[サイネージの追加 (Add Signage)] ウィンドウが表示されます。

Figure 3: サイネージの追加

Add Signage

Enter activation code displayed on your signage

Activation Code

Enter the activation code

Name your signage

Enter the signage name

[Can't see the activation code?](#)

Previous Next Save

Step 4 次の詳細を入力します。

- [アクティベーションコード (Activation Code)] フィールドに、アクティベーションコードを入力します。
- アクティベーションコードを表示できない場合は、[アクティベーションコードが表示されない場合 (Can't see the activation code?)] ドロップダウンをクリックして URL をコピーし、サイネージで Web ブラウザを起動して URL を貼り付けます。
サイネージ Web ブラウザでアクティベーションコードが生成されます。
- [サイネージに名前を付ける (Name your signage)] フィールドに、サイネージの新しい名前を入力します。

Step 5 [Save] をクリックします。

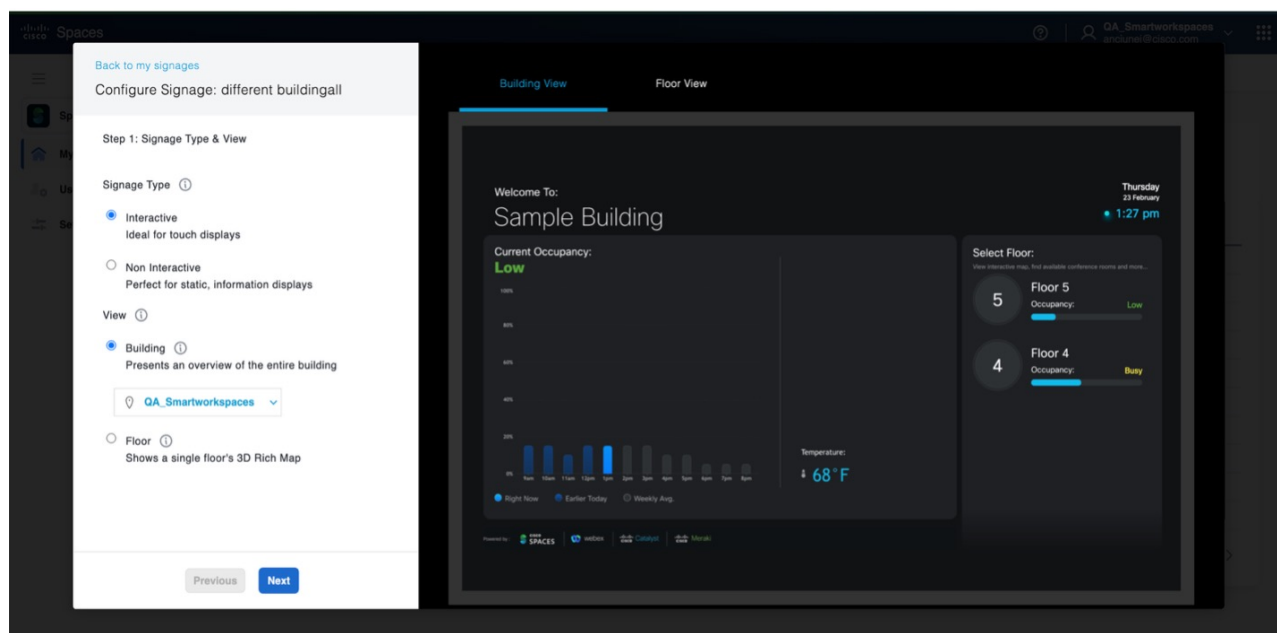
サイネージの設定

[サイネージの設定 (Configure Signage)] ページを使用して、デジタルサイネージの表示を設定し、建物/フロアビューで結果をリアルタイムでプレビューします。

Procedure

- Step 1** 新しいサイネージを設定するには、[設定 (Configure)] をクリックします。
- [建物ビュー (Building View)] と [フロアビュー (Floor View)] の 2 つのタブがある [サイネージの設定 (Configure Signage)] ページが表示されます。
- Step 2** [サイネージタイプとビュー (Signage type & view)] エリアで、サイネージタイプとビューの詳細を設定します。
- サイネージタイプを選択します。オプションは、[インタラクティブ (Interactive)] と [非インタラクティブ (Non Interactive)] です。
 - サイネージビューを選択します。オプションは [建物 (Building)] と [フロア (Floor)] です。
 - [場所 (Location)] ドロップダウンリストで、場所を選択します。
 - [緯度経度のオーバーライド (Override Lat Long)] チェックボックスをオンにして、値をオーバーライドします。マップ上の場所の緯度と経度の値を入力します。これらの値は、[緯度経度のオーバーライド (Override Lat Long)] オプションをオンにした場合は必須です。
 - [次へ (Next)] をクリックして次の手順に進みます。

Figure 4: ステップ1: サイネージのタイプと表示



Step 3 [ウィジェットの設定 (Configure Widgets)] エリアで、サイネージに表示するウィジェットのチェックボックスをオンにします。

a) ウィジェットのチェックボックスのオプションを確認します。んゆう

- [使用状況 (Occupancy)]: サイネージに使用状況ステータスと使用状況の傾向を表示します。
- [屋内空気質 (Indoor Air Quality)]: サイネージに屋内空気室情報を表示します。
- [CO2レベル (CO2 Level)]: サイネージに CO2 の測定値/インジケータレベルを表示します。
- [温度 (Temperature)]: サイネージに温度を華氏または摂氏で表示します。
- [湿度 (Humidity)]: サイネージに湿度情報を表示します。
- [対象ポイント (POI) (Point of Interest (POI))]: サイネージに POI 関連のコンテンツを表示します。

Figure 5: ステップ 2: ウィジェットの設定 - 建物ビュー

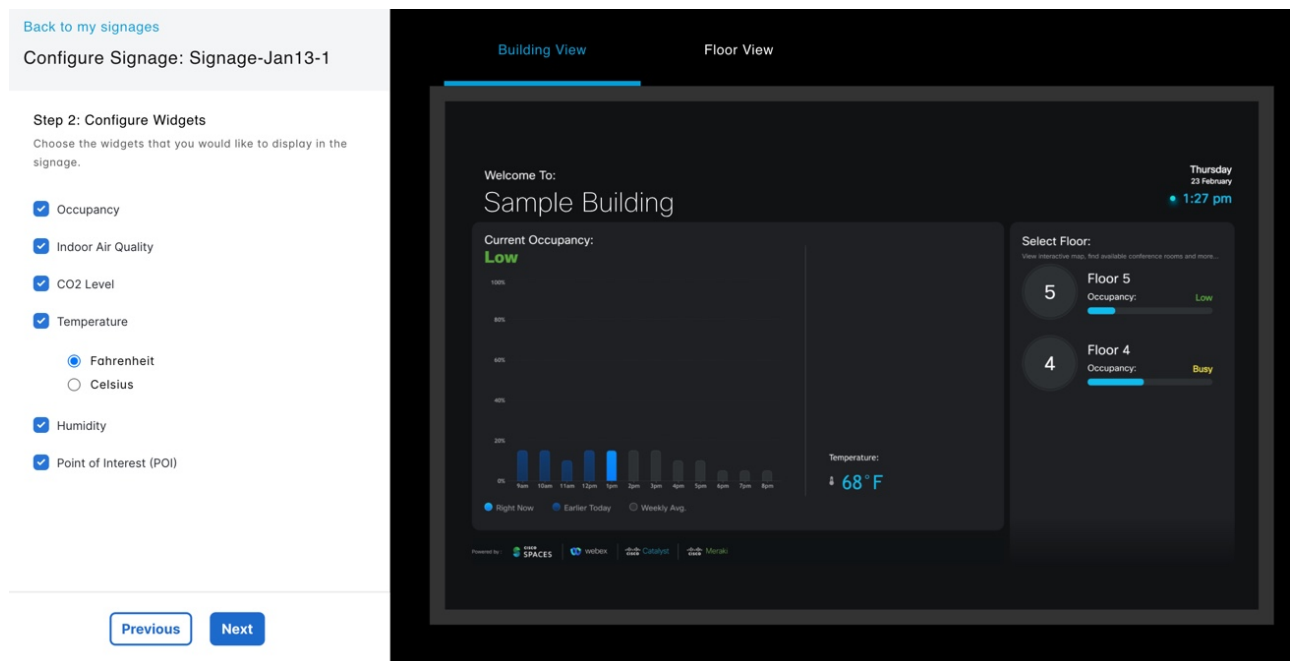
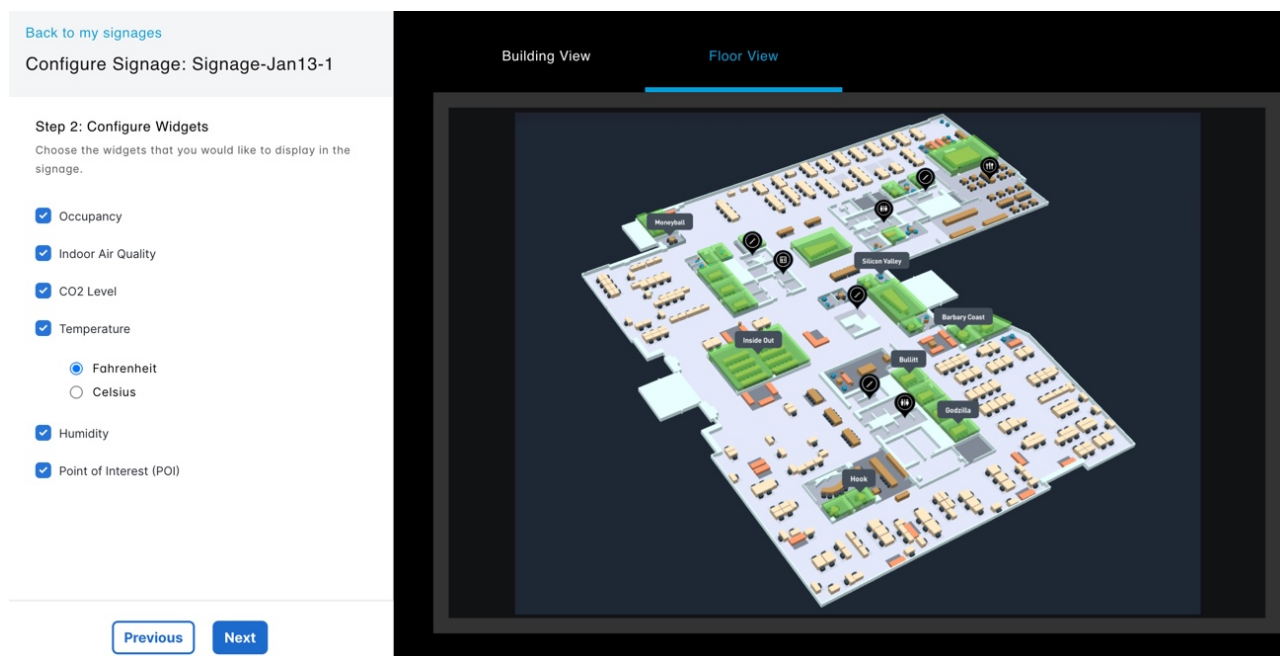


Figure 6: ステップ 2: ウィジェットの設定 - フロアビュー



b) [次へ (Next)] をクリックして次の手順に進みます。

Step 4

[デフォルトマップビューの設定 (Set the default map view)] エリアで、使用可能なコントロールまたは右側のペインを使用して、リッチマップのデフォルトの視点を変更します。

a) 次のマップビュー設定を構成します。

- [ピッチ (Pitch)]: 矢印を使用して値を設定します。
- [方位角 (Bearing)]: 矢印を使用して値を設定します。
- [ズーム (Zoom)]: 矢印を使用して値を設定します。

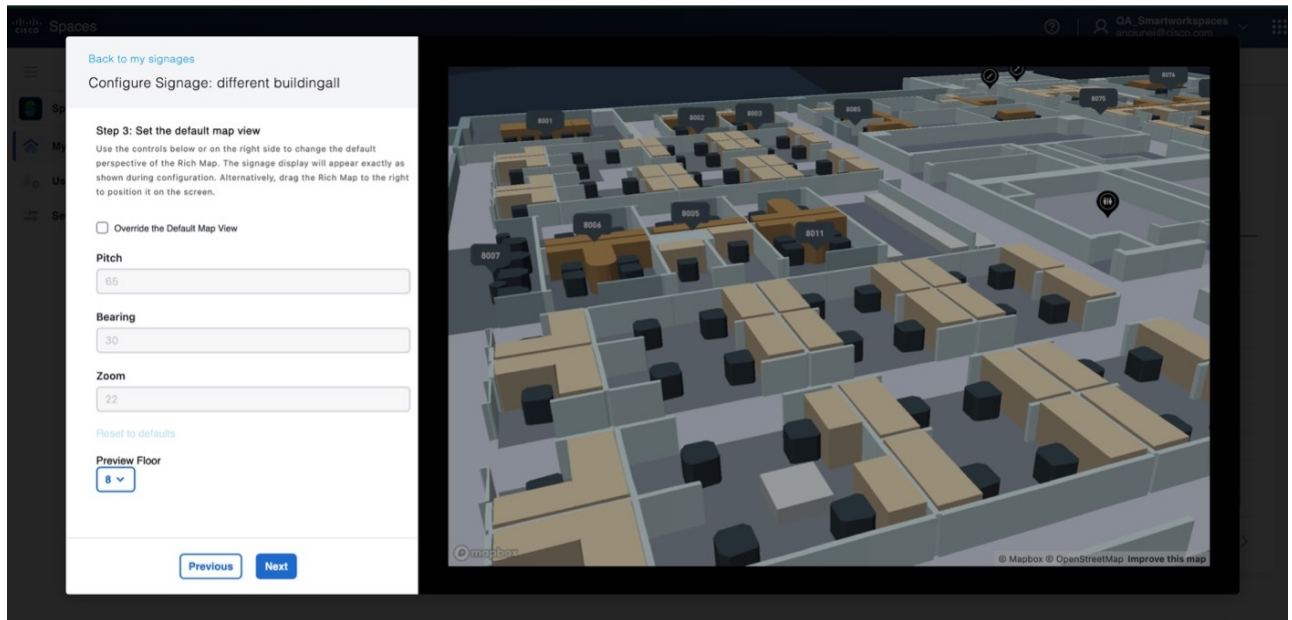
b) (オプション) 設定済みのマップビュー設定をシステムのデフォルト値に戻すには、[デフォルトにリセット (Reset to defaults)] をクリックします。

c) [フロアのプレビュー (Preview Floor)] ドロップダウンリストから、フロアを選択します。

d) [マップロケーションの緯度 (Map Location Latitude)] と [マップロケーションの経度 (Map Location Longitude)] の値を表示します。

e) [次へ (Next)] をクリックして次の手順に進みます。

Figure 7: ステップ3: デフォルトのマップビューの設定

**Step 5**

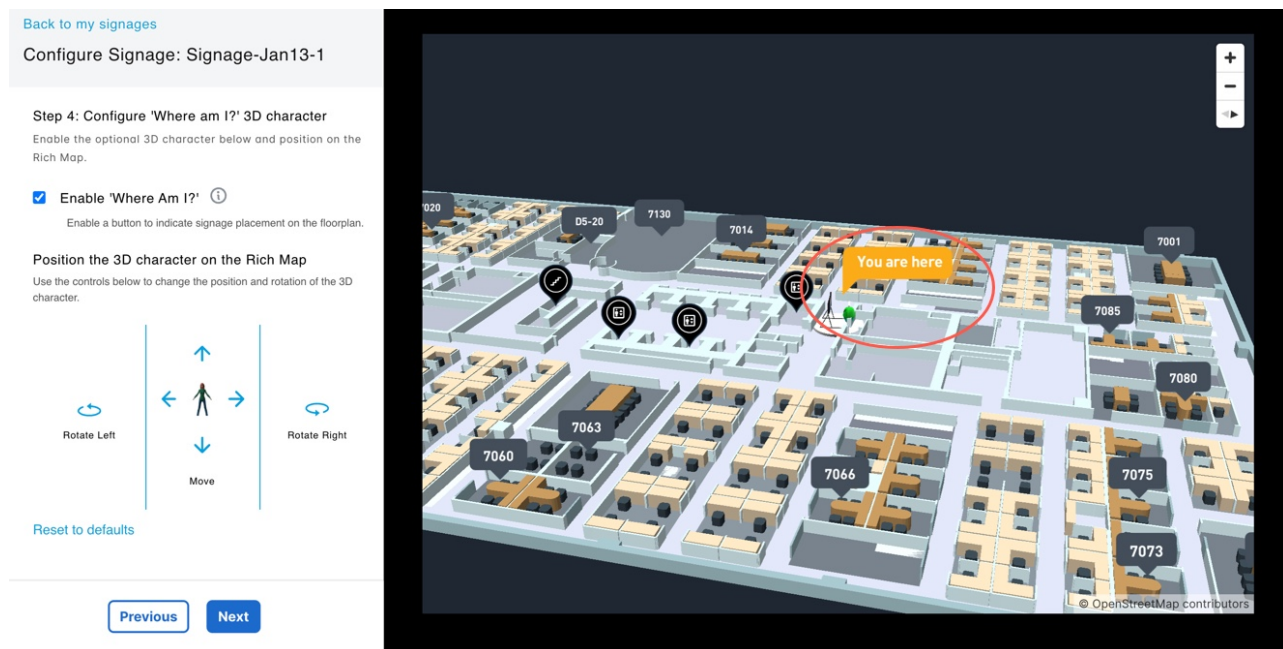
[[現在の場所] 3Dキャラクターの設定 (Configure 'Where am I?' 3D character)] エリアで、オプションの 3D キャラクターを有効にして、リッチマップ上の位置を指定します。

- [[現在の場所]の有効化 (Enable 'Where Am I?')] チェックボックスをオンにして、表示されているフロアプランのサイネージに [現在の場所 (You are here)] を表示します。
- 3D キャラクターの位置を変更したり回転したりするには、以下のコントロールを使用します。

次のオプションがあります。

- 左に回転
 - 右に回転
 - 移動 (4 方向すべて)
- (オプション) 設定済みのマップビュー設定をシステムのデフォルト値に戻すには、[デフォルトにリセット (Reset to defaults)] をクリックします。
 - [次へ (Next)] をクリックして次の手順に進みます。

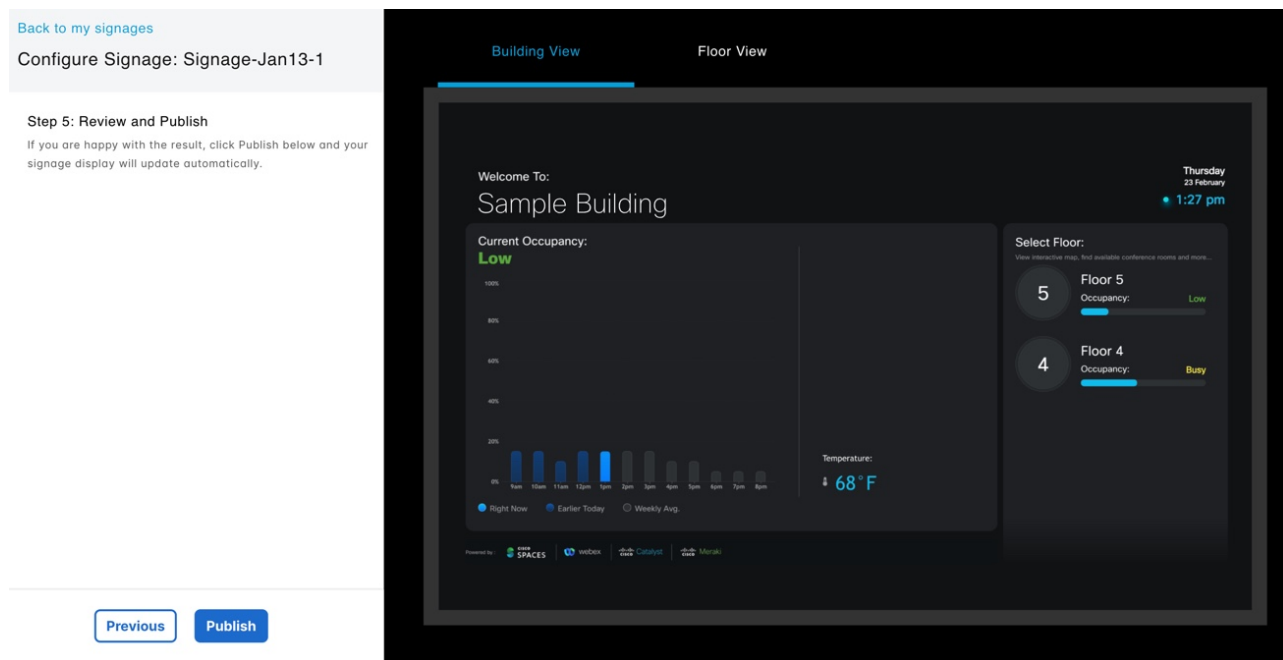
Figure 8: ステップ4: [現在の場所] 3Dキャラクターの設定



Step 6

[確認と公開 (Review and Publish)] エリアで、サイネージ設定を確認し、[公開 (Publish)] をクリックします。

Figure 9: ステップ5: 確認と公開



What to do next

サイネージの設定は公開されます。[マイサイネージ (My Signages)] ページにサイネージが表示されます。[サイネージの編集 (Edit Signage)] をクリックして、サイネージを更新および再公開できます。

ユーザーの管理

Procedure

-
- Step 1** Cisco Spaces で、[ダッシュボード (Dashboard)] > [Space Experience]を選択します。
[Space Experience] ウィンドウが表示されます。
- Step 2** 左側のナビゲーションウィンドウで、[User Management] をクリックします。
- Step 3** [User Management] ウィンドウの [Users] タブをクリックします。
- Step 4** **Space Experience** アプリケーションを使用するために他の Cisco Spaces ユーザーを招待するには、[Invite User] をクリックします。
- Step 5** 以下のパラメータを指定します。
- a) ユーザーの Cisco Spaces アカウントに関連付けられている電子メールアドレスを入力します。
 - b) ユーザーのアクセス権限に応じたロールを選択します。[Read Write User] (フルアクセス) または [Read Only User] (読み取り専用アクセス) を選択できます。
- Note**
Space Experience で使用可能なユーザーロールを表示するには、[ユーザー管理 (User Management)] ウィンドウの [ロール (Roles)] タブをクリックします。
- c) すべての場所を表示するには、[場所の選択 (Choose Locations)] をクリックします。Cisco Spaces で使用可能な [場所の階層 (Location Hierarchy)] の場所が表示されます。
- Step 6** [Send Invitation] をクリックします。
- Step 7** 既存のユーザーを削除するには、[Users] テーブルで、目的のユーザーを選択して [Delete] をクリックします。
[Users] テーブルが表示され、使用可能なユーザーと割り当てられたロールが一覧表示されます。
-

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。